

外壁用部材

メルコエアテクノロジー

防音形軒天チャンバーボックス(天井埋込タイプ)

防火ダンパー付防音形軒天チャンバーボックス(天井埋込タイプ)〈防火設備該当品〉

取扱説明書(据付説明書付)

この製品は、換気扇をダクト配管して給気・排気をする場合に屋外バルコニー等の軒天井裏に据付けて使用するものです。

■防火ダンパー付はダクト配管を通して火災が広がるのを防止する構造になっています。

■防火ダンパーの使用については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁(特に消防署)にご相談ください。

■この製品の性能・機能を十分発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付けが必要です。

■据付けを始める前に、この説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

■据付けは販売店・工事店様が実施してください。

据付け終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

ご使用の前に説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

なお、お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに保管してください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

形 名	適用パイプ 口径(mm)	使用用途			
		一般	不燃	耐湿	耐油
AT-100SNC, SNCD, SNCK	φ100				
AT-125SNC, SNCD, SNCK	φ125	●	●	●	—
AT-150SNC, SNCD, SNCK	φ150				
AT-150SNCB, SNCD, SNCKB	φ150	●	●	●	●

●適用パイプの種類

スパイラルダクト、アルミフレキシブルダクト、
硬質ポリ塩化ビニル管(VU)、硬質ポリ塩化ビニル管(VP)
※φ150タイプは硬質ポリ塩化ビニル管(VP)には据付けできません。

●温度ヒューズ公称動作温度

72℃ …… 形名の最後「D」・「DB」

120℃ …… 形名の最後「K」・「KB」

※火気使用室(台所など)対応の防火ダンパーは120℃品をご使用ください。

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

警告

誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止

- 防火ダンパーを密閉または、半密閉の燃焼設備(給湯機・風呂釜など)の排気ダクトには使用しない(誤動作によりダンパーが閉じて排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因)
- 常時振動したり、振動しやすい場所には据付けしない(落下によるけがの原因)

指示に従う

- 本体の据付けは、十分強度のあるところを選んで確実に(落下によるけがの原因)
- 必ず定期的(1年以内ごと)に点検を行う

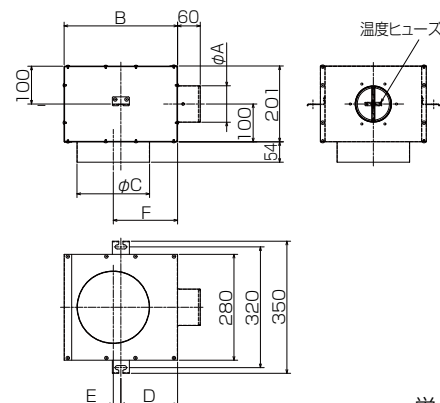
注意

誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの

指示に従う

- 据付けやお手入れの際は、手袋を着用する(着用しないとけがの原因)

外形寸法図



単位 (mm)

形名	A	B	C	D	E	F
AT-100SNC, SNCD, SNCK	97					
AT-125SNC, SNCD, SNCK	122	300	192	150	20	170
AT-150SNC, SNCD, SNCK	147					
AT-150SNCB, SNCD, SNCKB	147	320	168	160	50	190

据付け前のお願い

- 使用環境が-20℃～50℃の範囲になる場所で使用してください。
- SNCタイプは油煙の発生する場所には使用しないでください。
※油煙が発生する場所にはSNCBタイプを使用してください。
- この製品は汚染ガス耐力(酸、薬品、温泉害など)を持たせたものではありません。下記のような場所での使用は腐食が急激に進み、寿命が著しく低下するおそれがありますので特にこまめな点検・清掃および早めのお手入れが必要です。
 - ・化学工場、パルプ工場などの構内およびその周辺地域
 - ・工場、学校等の実験室などで化学薬品を使用する場所
 - ・温泉地域やプール、下水の排気などの用途
 - ・その他、腐食性物質、腐食性ガスの発生する場所
 - ・融雪剤が飛散する場所

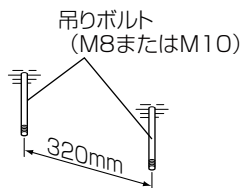
- 点検・清掃や温度ヒューズの交換・部品の交換が容易にできるところへ据付けてください。
- ダクトには、雨水の浸入を防ぐため、屋外へ向けて下りこう配をつけてください。(排気ダクト:1/100以上、給気ダクト:1/30以上)
- 雨がかかる場所に据付けた場合には開口部から室内側へ雨水浸入などが発生するおそれがあるため、雨がかかる場所へは据付できません。
- 気象状況によっては雨水が浸入するおそれがあります。
- 製品の下には洗濯物等を干さないでください。水滴等が落下して汚れるおそれがあります。
- 防火ダンパー付のベントキャップは取付けられません。

据付方法

1. 据付前の準備

吊りボルトの埋め込み

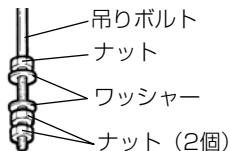
下図の寸法で市販の吊りボルト(M8またはM10)を埋め込む。



ワッシャー・ナットの取付け

埋め込んだ市販の吊りボルト(M8またはM10)に下図のように市販のワッシャー・ナットを取付ける。

- ワッシャーは外径20mm～30mmのものを使用してください。
- ゆるみ防止のため、下側にナットを2個取付けてください。

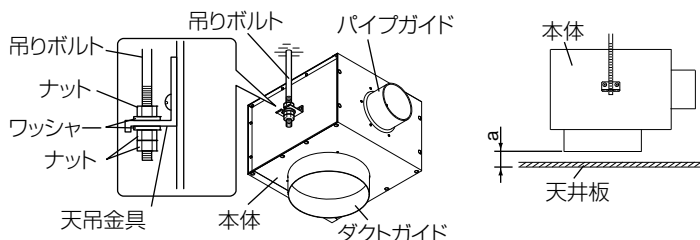


2. 本体の据付け

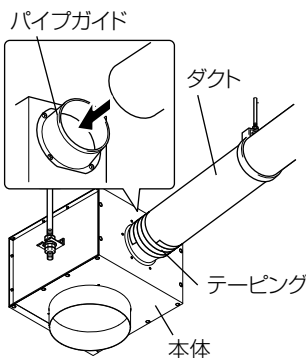
1. 吊りボルト間を広げるようにして天吊金具の溝を吊りボルトへはめ込み、本体を仮固定する。
2. 天井板の下端面から製品の下端面までの間隔(a)は、天井板の厚さ $a \leq 30\text{mm}$ となるように調整する。
3. 仮固定してあるワッシャー・ナットを確実に締付ける。

お願い

- 天井板を張った後では上記調整が困難となるため、必ず事前に調整を行ってください。
- 吊りボルトは下側のナット端部から出してください。



3. ダクト接続



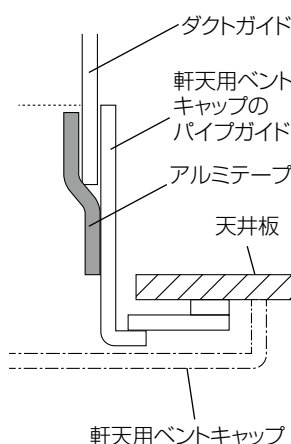
ダクトをパイプガイドに差し込んで風漏れのないよう市販のアルミテープでテーピングする。

- ダクトは本体に力が加わらないよう天井から吊るす。
- ダクトは雨水の浸入を防ぐため、屋外に向けて下りこう配をつけてください。(排気ダクト: 1/100以上, 給気ダクト 1/30 以上)

お願い

- 結露のおそれのある場合は、ダクトに断熱材を巻いてください。

4. 軒天用ベントキャップの取付け



1. 天井板を張る。
2. 天井板に取付穴をあける。
 - ダクトガイドの真下となるように取付穴をあけてください。
 - 取付穴の大きさは軒天用ベントキャップの取扱説明書を参照してください。
3. 天井板の取付穴およびダクトガイドに軒天用ベントキャップのパイプガイドを差し込む。
 - 軒天用ベントキャップのパイプガイド内側にダクトガイドを挿入してください。
4. ダクトガイドとパイプガイドの内側を風漏れのないように市販のアルミテープでテーピングする。

お願い

- 軒天用ベントキャップの取付けは、軒天用ベントキャップの取扱説明書を参照してください。

お手入れ

※安全にご使用いただくために、必ず定期的な点検・清掃を行ってください。

点検項目

- 製品の据付け状態は正常であるか？
 - 温度ヒューズに著しい腐食(銅板が青緑色へ変色)の発生がないか？
 - ねじ類に緩みなどないか？
 - 温度ヒューズが作動し、ダンパーが閉じていないか？
- ※点検の結果、異常が見つかった場合は、修理、部品(製品)の交換をお買い上げの販売店、工事店に依頼してください。

温度ヒューズの交換

お願い

- 温度ヒューズは、指定された公称動作温度の当社製温度ヒューズを使用してください。

- 温度ヒューズの表面に腐食が発生した場合は、温度ヒューズを交換してください。取付け・交換はお買い上げの販売店、工事店に依頼してください。
- はずしたねじはなくさないでください。(取付ける際に必要です)
- 温度ヒューズが作動し、ダンパーが閉じている場合は①から⑥、温度ヒューズを交換する場合は手順①の後、⑤⑥を行ってください。
- ※温度ヒューズの取付けが困難な場合は、ベントキャップをダクトガイドからはずして交換をしてください。交換後は、据付け時と同様の手順で据付けてください。

<p>①ベントキャップのねじをはずし、ベントキャップを取りはずす。</p>	<p>②ダクトガイド開口部よりダンパーの位置を確認する。</p>	<p>③ダクトガイドから手を入れて、温度ヒューズのフックで片方のダンパーの引掛部を引掛け、片方のダンパーを起す。</p>
<p>④手を入れてもう片方のダンパーを裏側から押すように起す。</p>	<p>⑤両方のダンパーを指ではさみ、引掛部に温度ヒューズを取付ける。 ※はさみにくいときは、ラジオペンチなどを使用してください。</p>	<p>⑥元通りベントキャップをねじで締付ける。 ※1.4N・m以下の締付けトルクで締め付けてください。</p>

メルコエアテクノロジー株式会社